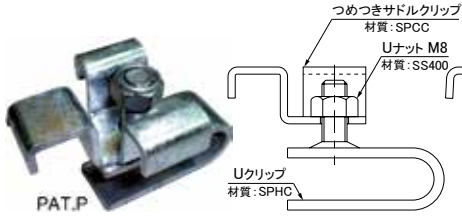


つめつきサドルクリップ SC-10・SC-11

❖ 固定金具の表面処理は、一式溶融亜鉛めっきです。 **つめつきサドルクリップ 適用型式表**

Uクリップ UC8-19 ~ UC8-44



- つめをエンドプレートやクロスバーに引っかけることによりみぞ形鋼にゆるまず固定できます。
- H鋼やみぞ形鋼または、アングル材の中間受材を使用する部分はグレーチングを2枚同時に固定でき、連結金具の半分の数量でOK。作業性や金具のコストも削減できます。適用荷重5.0kN/m²

メインバー (mm)		型式	Uクリップ	
寸法	ピッチ		型式	下部受材適用厚さ
FB19×4.5	30	SC-10	UC8-19	6 ~ 8mm
FB19×3				
FB25×3				
I-25×5×3				
FB32×3				
I-32×5×3		SC-11	UC8-25	6 ~ 9mm
FB38×3				
I-38×5×3				
I-44×5×3				
I-44×5×3				
I-32×5×3	6 ~ 10mm	UC8-32		
I-38×5×3		UC8-38		
I-44×5×3		UC8-44		

取付手順(つめつきサドルクリップ)



1. Uクリップを受材に挟み込む位置はグレーチングの端からメインバー2本目と3本目の間が望ましい。



2. Uクリップのボルトにつめつきサドルクリップを写真および上図のように差し込む。



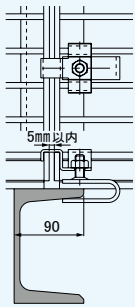
3. エンドプレートに写真上のようにつめの部分をしっかり押し付けながらUナットを締め付けていく。



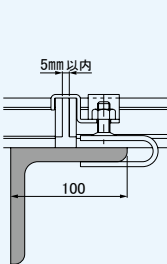
4. 同様にグレーチングの4ヶ所を固定して完成。

固定例(つめつきサドルクリップ)

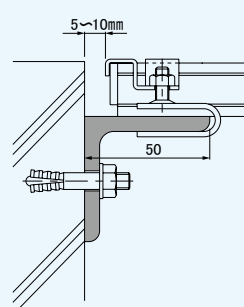
溝形鋼が中受材の場合の固定



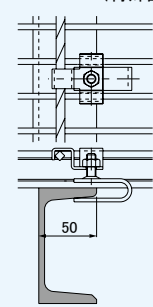
中受材がアングルの場合の固定



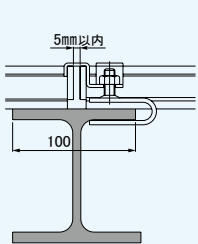
エンド部アングル固定の場合



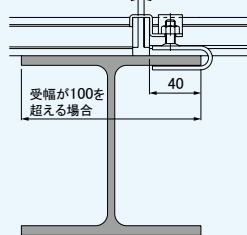
クロスバーにて固定の場合 (特殊固定例)



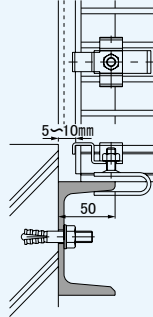
H形鋼が中受材の場合の固定



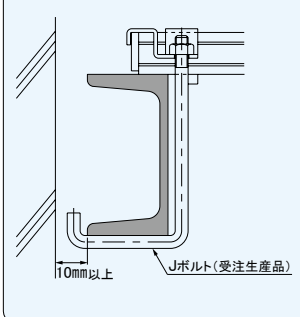
H形鋼中受材の受幅が広い場合のつめつきサドルを使用したダブルでの固定例



溝形鋼エンド部へ固定の場合

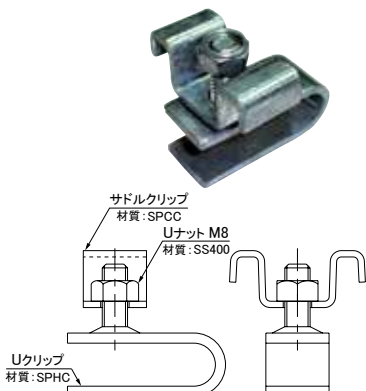


エンド部逆向き溝形鋼へ固定の場合

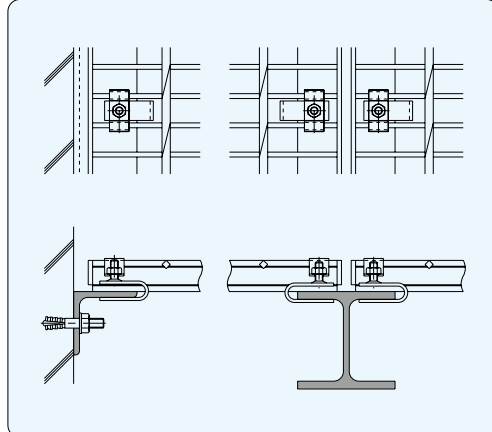


サドルクリップ SC-7 ~ SC-9

Uクリップ UC8-19 ~ UC8-50



固定例(サドルクリップ)



サドルクリップ 適用型式表

メインバー (mm)		型式	Uクリップ	
寸法	ピッチ		型式	下部受材適用厚さ
FB19×4.5	30	SC-7	UC8-19	6 ~ 8mm
FB19×3				
FB25×3				
I-25×5×3				
FB32×3				
I-32×5×3		SC-8	UC8-25	6 ~ 9mm
FB38×3				
I-38×5×3				
I-44×5×3				
I-44×5×3				
I-50×7×4	35.3	SC-9	UC8-50	6 ~ 10mm